

補助事業番号 19-1-132

補助事業名 平成19年度 聴覚障害児の教育指導補助事業

補助事業者名 財団法人 聴覚障害者教育福祉協会

## 1. 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

在宅聴覚障害児の指導や、特別支援教育の中でも特に困難とされている聴覚障害児教育の効果を高めるため、指導用機器の整備及び指導書の制作、講習会の開催等を行い、もって公益の増進に寄与する。

### (2) 実施内容

- ア. 幼小児用補聴装置の無償貸し出し
- イ. 両親指導書「のびのびと聴いて話して読んで書く」の無償配付(初版)
- ウ. 移動母子教室の開設
- エ. 指導者講習会の開催

## 2. 予想される事業実施効果

### ア. 幼小児用補聴装置の無償貸し出し

新生児から幼小児期に至る聴覚障害児がベビーカー、チャイルドシート等、話し手から離れた位置にいる場合でも話しかけが子どもの耳に十分に達することにより聴能訓練に役立ち心理的な安定感及びコミュニケーションの素地を身につけることに大いに役立つと思われる。

### イ. 両親指導書の刊行無償配付

斯界の先達が百年余にわたって営々と研究開発し続けてきた「聴覚口話法」も言語獲得初期の乳幼児の生育に生かすことが重要との観点から本協会では過去4年にわたり「子育てに生かす聴覚講話法」「話し言葉から書き言葉へ」を刊行してきた。本年度は読話や読みの領域も加えた指導書を刊行することにより両親に望ましいことばの指導について指針を与え望ましい子育てへの自信をもたせる効果を期待している。

### ウ. 講習会等の開催

講習会を通して研鑽を深めることにより、望ましい子育ての方向性が確認でき自信をもって養育に当たる両親が増加し、よって児童の健全育成に資することが期待できる。

## 3. 本事業により作成した印刷物

両親指導書「のびのびと聴いて話して読んで書く」

#### 4. 事業内容についての問い合わせ

団 体 名 : 財団法人 聴覚障害者教育福祉協会

住 所 : 162-0051

東京都新宿区西早稲田 2-2-8

代表者名 : 会長 山東 昭子 (サントウ アキコ)

担当部署 : 事務局 (ジムキョク)

担当者名 : 専務理事 小林 明 (コバヤシ アキラ)

電話番号 : 03-3203-4765

F A X : 03-3203-4765

E - mail : [wasedanomori@amethyst.broba.cc](mailto:wasedanomori@amethyst.broba.cc)

U R L : <http://www13.plala.or.jp/wasedanomori/>